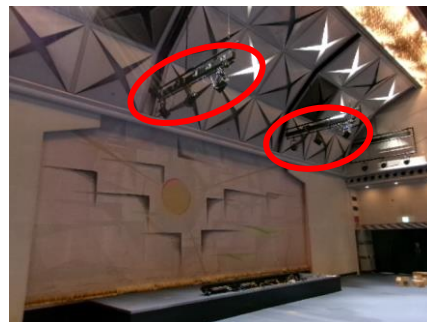


パーライト

舞台のある一点を照らすための照明器具です。また、カラーを用いることで様々な色を作り出すこともできます。

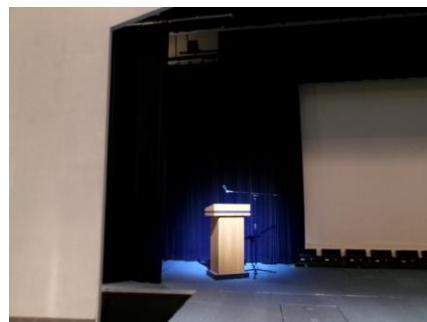
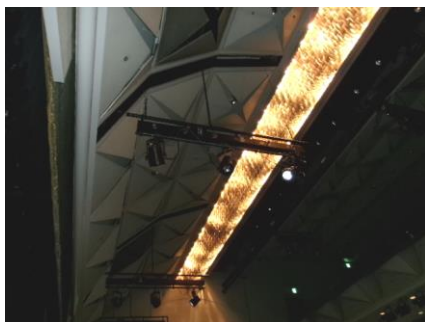
1台=500円/区分



利用例①
講演者へのスポットライト



利用例②
司会者へのスポットライト



利用例③
中央に照明を当てる。
※中央に照明を当てる場合は、左右の
スポットライトで照らします。



サスペンションスポットライト

舞台上部のバトンに設置されているスポットライトです。

舞台上部から演技者を照射し、人物や装置に立体感を与え、舞台に奥行きをつくり出します。

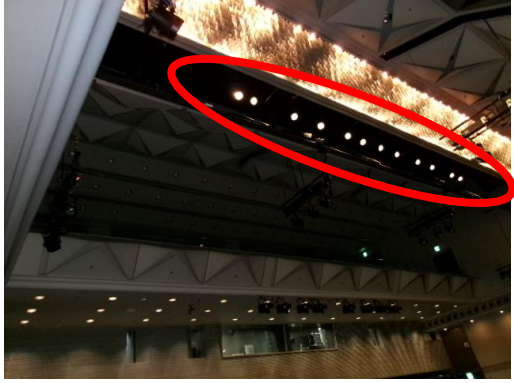
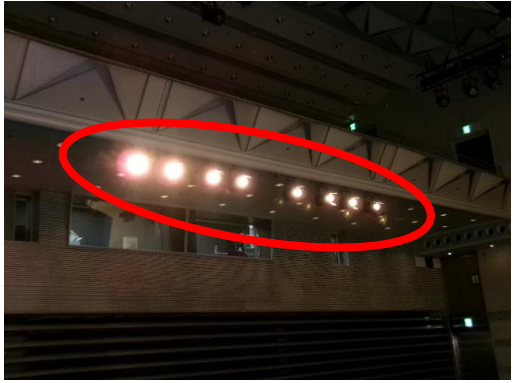

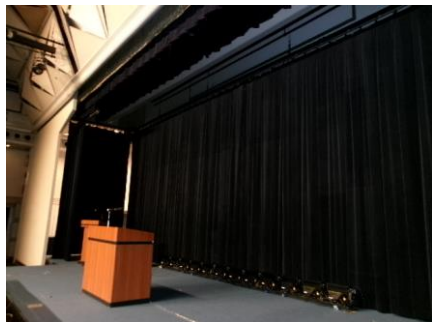


・プロジェクターを投影しても、光が被らないためプロジェクター映像は映りません。

ライト数8個

1列=2,030円/区分



第1シーリングスポットライト・第2シーリングスポットライト

<p>客席天井部に設置されている照明設備です。</p> <p>舞台に対して正面上部から明かりを照らすことで、演者の表情などを明るく見せる役割があります。</p> <p>第1シーリングスポットライト 1列=2,440円/区分</p>		
<p>第2シーリングスポットライト 1列=1,620円/区分</p>		
<p>利用例① 第1・2シーリングスポットライトのライトで、舞台全体を照らします。</p>		
<p>利用例② 舞台・客席と照明を消して、講演者だけにパーライトが当たっている状態です。</p> <p>ライトを消すとステージ全体が暗くなります。</p>		

アッパー Horizont ライト

舞台奥に設置し、舞台上部から Horizont 幕を均等な明るさで照射できる。
カラーを用いることで様々な色をつくりだすこともできます。

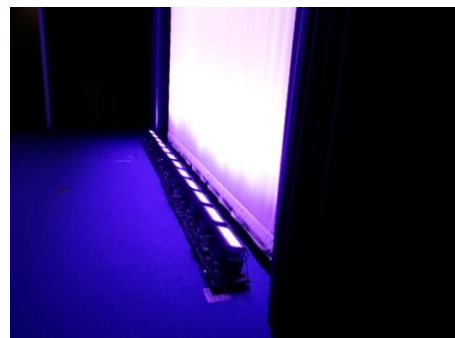
1列 = 1,220 円 / 区分



ローア Horizont ライト

舞台奥に取り付け、舞台床部から、Horizont 幕を均等な明るさで照射できます。
カラーを用いることで様々な色をつくりだすこともできます。

1基 = 200 円 / 区分



フットライト

舞台前面の床に取り付ける照明器具です。演技者の顔や衣裳を明るく見せるための明かりで、歌舞伎や日本舞踊などでよく使用されます。
カラーを用いることで様々な色をつくりだすこともできます。

1基 = 100 円 / 区分



アッパー Horizont ライト・ローア Horizont ライト・フットライト

客席の照明を消して、3つのライトを同時に使用した状態です。
演劇やお遊戯会などで使用されることがあります。



フォロースポットライト

客席の後方から、舞台上の特定の人物だけを照射する照明器具です。

人の動きに合わせて、舞台上で明かりを動かすため、舞台全体の雰囲気をおこさないように、操作、光の質、光量などを十分に考えることが必要となります。

1台=1,010円/区分

(右 写真:調整室内)

